



問い合わせ先

泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつづやき

人気本もたくさん入っています。貸出中のときは予約もできるよ！

メロン

新着・お薦め図書

泗水図書館

憤死 綿矢りさ 著
 ガソリン生活 伊坂幸太郎 著
 あいー永遠に在りー 高田 郁 著
 父 水上勉 著
 へこたれない心 窪島誠一郎 著
 カラスの教科書 園田天光光 著
 闇を照らす六つの星 松原 始 著
 富士山うたごよみ 小倉 明 著
 U・G・サトー 絵

中央公民館図書室

A型自分の説明書 続 Jamais Jamais 著
 こんながり！ホットサンドレシピ100
 ホットサンド倶楽部 著
 団塊世代の孫育てのススム 宮本まき子 著
 まりしてん閻千代姫 山本兼一 著
 ひめちゃんひめ 尾沼まりこ 文
 かえでの葉っぱ デイジー・ムラースコヴァー 文

七城公民館図書室

秘密結社にご注意を 新藤卓広 著
 熊本の海カフェ山カフェ 三角由美子 著
 お手紙ありがとう 小手鞠るい 著
 シャンプーだいすき きむらゆういち 著

旭志公民館図書室

生存者ゼロ 安生 正 著
 記念日につくる消しゴムはんこ アニヤン 著
 しゃもじいさん かとうまふみ 著
 ふしぎな八つのおとぎばなし ジョーン・エイキン 著

中央公民館図書室をご利用ください

中央公民館図書室では、本や雑誌・紙芝居など約2万冊を所蔵しています。最近はやングアダルトコーナーの充実にも力を入れていて、中高生が楽しめるような素敵な恋愛ものやファンタジーものなど多くそろえています。

映像化作品のコーナーでは、映画やドラマ化された原作本を分かりやすく紹介したり、話題の本をまとめて配置したりして、皆さんの手に取りやすくしています。

中央公民館図書室は、市役所の道を挟んだすぐ隣にありますので、ぜひ足をのばして図書室へもお越しください。

毎月第3土曜日には、親子で楽しめる「おたのしみかい」を開催しています。親子おそろいでの参加もお待ちしています。



私たち司書がお待ちしています♪

耳より情報

図書館Q&A

- Q 本の貸出期間はどのくらいですか？**
 A 本を借りた日から15日以内です。視聴覚資料(CD・DVDなど)は4日以内です。
- Q 他の図書館で借りた本は返却できますか？**
 A 本を借りた図書館へ返却してください。
- Q 利用者カードを忘れても借りることができますか？**
 A 確認カードに記入して借りることができます。

利用者マナーを守りましょう

世の中にはいろいろなマナーがあります。もちろん、図書館を利用する時のマナーというのもあります。

マナーを守ることは、少し難しいことではありません。一人一人がほんの少し気をつけることで、みんなが気持ち良く利用することができます。これを機会にもう一度、自分のマナーを見直してみましょう。

飲食は禁止です！ 飲食はゴキブリやカビの発生の原因となり、本や資料の汚損・劣化を引き起こします。

万句の里俳句会 3月句会

正門に並び一礼卒業す 岩木 敬治
 鶯に迎えられるる山の寺 野中 公枝
 咲き満ちて白を極めぬ雪柳 北村 妙子
 末黒野となり新しき風が吹く 平山 邦子
 吹き渡る風に揺れ合ふ花なづな 宮本 雅子

せせらぎ俳句会 3月例会

地に垂れて揺れてなびくや雪柳 藤本アツ子
 魁けて咲く黄水仙の陽に向ける 村山 数恵
 満開の桜に焦る我が心 渡辺 大寿
 春立つや志望校パスと孫電話 五丁 義昭
 啓蟄や人も蝶々も噂好き 藤本 邦治

旭志文芸教室俳句会 3月詠草

初釜に招かれ帯を引きしむる 水谷 ミネ
 下萌えのはや種落とす草もあり 中尾ヨシコ
 黄昏や直立不動の冬木立 芹川 蓉子

肥後狂句水笑会 3月例会

里の田は阿蘇よりつづき麦青む 芹川のり子
 心得たもん 勝手知つとる彼の部屋 上村 ○子
 軽はずみ 薄着していて風邪ひいた 小川 繁美
 そそくって とても我家じゃなご 狩野 本六
 大あくび とうと明日から新学期 窪田 明德
 不承不承 歳費削って見せらした 田中 孝幸

肥後狂句水笑会 3月例会

ゴミ袋 紙屑までん銭の要る 中島 五女
 花吹雪 黄砂も共に持って来た 吉岡 三水
 出遅れて 供託金はおつとられ 井手 水光
 出遅れて まわしつかまれ送り出し 続 義昭
 花吹雪 滑って落ちる禿頭 山隈 好茶

七城短歌会 3月詠草

主亡き庭に海棠咲き盛り垣根越し我 木下 陽子
 見ながら過ぐる

高齡者大学 3月歌会

カーテンの隙間に眩しき春の陽に目覚めて今日の一日始まる 山城 雅子
 若きより夢だに思はぬ吾なりしに 梅野カヲル
 よいよ百の齡賜はる 梅野カヲル
 今年また花に会ひ得し喜びよ卒寿の春を盛る紅梅 山下 菊代
 満開の梅の花咲くわが庭の老木なれど勢いのあり 安東 綾
 痴こぼしめる朝のキツチン 山代 静子
 独り居はこんなに仕事が多いのか愚子
 遠目にも青垣山にその在り処一点灯すか花山さくら 村上さき江

菊池短歌会 4月詠草

白妙のなすなの花の野に降りてこの世には無き吉報伝へよ 怒留湯健蓉
 散る花を手底にのせ慈しむ友の横顔やさしさに満つ 林 まつ子
 遠目にも青垣山にその在り処一点灯すか花山さくら 村上さき江



上の句を据えてしばらくペンを置く
 残生は稍のんびり生きむ
 今日われは母逝きし年齢迎えたる春の陽のなか 風を感じて
 山下 菊代
 余語やす子

